

カナダカルガリー合気道30周年記念行事に参加して

カルガリー30周年
記念行事に参加して

指導員 白川 竜次

8月11日～17日まで、カナダ・カルガリー合気会30周年記念講習会と祝賀会に神武錬成塾から塾長と私が参加してきました。日本からの参加者は小林保雄先生、五十嵐先生を始め小林道場の関連道場から師範方合わせて総勢28名が参加しました。

カナダ・カルガリー合気会は稲葉泰久先生という日本人の先生が教えておりました。しかしこの30周年記念大会を翌年と迫る2009年1月に突然病気で亡くなってしまったのです。生前からこの30周年記念大会は日本・世界から師範をお招きして盛大に行ないたいと何年も前から言っておられました。



塾長と竜次指導員 (バンフにて)

先生がいないうちで30周年を迎えることになりとても残念でなりません。しかし稲葉先生の意思を引き継ぎ、奥様を始めとする家族の協力、そして会員の方々の尽力により今回の大会が実現しました。



集合写真 (記念講習会后)

このカルガリーの地は塾長と私にとって、とても縁のある場所です。塾長は1995年(平成7年)6月のドイツ合気会30周年記念行事で稲葉先生と初めて会いました。ちょうどその時、稲葉先生は全体の仕事が忙しく日本から長期で指導ができる先生を探している時期でもありました。ドイツで稲葉先生の人柄にとっても好感を持った塾長はそこで意気投合し、その年の秋に指導に行く約束をしました。そして約束通りその年の1

0月に2ヶ月間、合気道の指導の手伝いにカルガリーに行きました。そして私はそれから9年後の2004年(平成16年)の1月から3月までの2ヶ月間、道場に住込みで海外研修の為にきました。ちょうど合気道のプロを志す、小林道場での内弟子修業が終わった翌年でした。私がカルガリーへ行った冬の時期はとても寒く気温がマイナス10℃～30℃にもなるとても厳しい期間でもありました。しかし稲葉先生そして会員の皆様に温かく迎えていただきとても充実した研修を行なうことができました。この30周年の記念大会に先生がいないはとても残念ですが、この大会を盛大に行い無事に成功させる事が何よりの供養になる事だと思ひながら塾長(講習会の講師として)と私(日本の参加者として)はカルガリーに向かいました。

今回の旅では講習会前に観光が2日間あり、カナディアノロッキーで有名なバンフで2泊しました。最初はゴンドラにてサルファーマウンテンの山頂に行きそれから、世界の宝石といわれているレイクルイーズ湖、ロッキーマウンテンの秘宝と呼ばれるモーレン湖、エメラルド湖、氷河から流れるタカウ滝などを観光しました。私は冬の寒い時期でしたのでほとんど観光したことがなく、今回はじめてバンフの広大な大自然を目の当たりにしてとても感動しました。特に驚いたのが、エメラルド湖です。名前の通り湖が緑色をしているのですが、その色がまるでバスクリーンを入れているような色なのです。自然の不思議さを感じます。



竜次指導員・小林先生・塾長
(エメラルド湖にて)

カナダ到着の3日目からはいよいよ記念講習会が始まり、一日目は小林保雄先生ご子息の小林弘明先生(六段)、五十嵐先生(七段)で幕を開け、二日目・三日目からは白川塾長(七段)、ハワイのロバート久保先生(七段)、荒井先生(七段)、ドイツの浅井先生(八段)そして小林保雄先生(八段)

と世界的な高名な高段者が揃うとても豪華な講習会となりました。講習会は全部で10回予定しておりましたが、日本からの参加者は稲葉先生のお墓参りなどの都合上、全部参加する事はできませんでした。私は10回のうち5回参加しました。どの先生方もとても魅力的でとても充実した講習を受ける事ができました。特に講習会最終日のとりを勤めた小林先生の講習会では、参加者全員が笑顔になるような内容で先生自ら率先して受身を取って、和やかな雰囲気が始まりました。時には、飛び受身まで見せていただき参加者から大きな拍手が沸き起こりました。運動量もあり楽しみなが、非常に為になる講習会となりました。その後、休憩を挟み記念演武会も開催されました。全日本演武大会とはまた違った世界的な有名師範が行なうすばらしい模範演武となりました。

また30周年記念パーティーは二日目の講習会の後に行なわれ総勢150名の参加者が集まりました。それぞれの先生方が稲葉先生との思い出の話や30周年記念のお祝いの言葉を述べ、日本からは小林道場の東城さんが詩吟で華を

そえました。パーティーの締めは福島県の追分先生が得意！？の万歳三唱で締め、記念パーティーも盛大に滞りなく行われました。バンフ観光の後は講習会・演武会・祝賀会・お墓参りなどたくさん行事があり5泊7日の旅も本当にあつという間に感じました。小林先生によるとこのような記念大会で高段者の師範が一同に揃い講習会を行なう（八段2名、七段4名、六段1名）という機会はいままでに無かった事だそうです。

このようなすばらしい大会が開催出来たのも稲葉先生の献身的な指導努力、そして人望があつての事だと思います。今回私は、このようなすばらしい大会に参加でき本当によい経験ができ光栄でした。

今後は稲葉先生が心血を注いで創られたこのすばらしいカルガリー合気会を奥様を始めとする家族の皆様、そして会員の皆様でさらに盛り立てていってほしいと思います。

稲葉先生のご冥福をお祈りいたします共にカルガリー合気会の益々の発展を心よりお祈りにしております。また10年後の40周年記念大会が開かれるのを楽しみにしております